

SYLLABUS 2026

中 学 受 験 部

小3

CONTENTS

- 1 年間スケジュール
- 3 国語の学習
- 4 算数の学習
- 5 社会の学習
- 6 理科の学習
- 7 3JSクラス
- 9 プレ期カリキュラム
- 11 前期カリキュラム
- 17 後期カリキュラム
- 26 授業カレンダー



年間スケジュール

	授業	テスト	イベント
2026年 2月	● 新学年オリエンテーション		
3月	● 新学年オリエンテーション	★ワセアカチャレンジテスト3月 ★マンスリーテスト①	● 保護者会
4月	● 新学年オリエンテーション		
5月		★マンスリーテスト②	● 保護者会
6月		● 全国統一小学生テスト	
7月		★マンスリーテスト③	● 保護者会 ● 個別面談
8月		★ワセアカチャレンジテスト8月	
9月	● 新学年オリエンテーション		
10月		★マンスリーテスト④	● 保護者会
11月		● 全国統一小学生テスト ★マンスリーテスト⑤	● 保護者会
12月			● 個別面談
2027年 1月		★ 小3冬期学力診断テスト ★ 新小4組分けテスト	

目標設定と適切なフィードバックで、やる気を引き出し、学力を伸ばします

お子様のやる気を引き出すためには、適切な目標が必要不可欠です。しかし、目標はただ設定すれば良い、というものではありません。結果・成果に結びつけるためには、お子様にとってわかりやすく、「頑張れば達成できそうだ」と思えるものであることが大切です。また、得点や順位といった「結果」の目標だけではなく、そこに至るための行動目標（例：毎朝10分間計算問題に取り組む）や到達目標（例：四角形の広さを求められるようになる）も必要です。遠い目標に向かって、「やらなければならない」という思いで取り組むよりも、目標の意義や価値を理解したうえで、「これはできた!」と感じながら一歩ずつ前へ進む方が、お子様の意欲の向上、成績上昇につながるからです。

早稲田アカデミーは、各種テストを目標として設定し、やる気を引き出すために活用しています。素晴らしい結果を出したときには心からほめます。反対に、思うような結果が得られなかった場合は、単に得点や偏差値だけで判断するのではなく時には解答の過程などにも目を通してながら、なぜそのような結果となってしまったのかを分析します。そして、その結果をお子様・保護者様へフィードバックし、次のテストに向けた目標を一緒に考えるとともに、達成までの道のりを提示します。

テスト

● マンスリーテスト（年5回実施）

小3ジュニアコース生対象の到達度テスト（カリキュラムテスト）です。定められた期間内に学習した内容の定着度を確認するためのテストとなりますが、一部思考力や表現力を問う応用的な出題も含まれます。詳細は、試験と並行して実施される保護者会にてお伝えします。

● 全国統一小学生テスト（6月・11月実施）

四谷大塚主催の「全国統一小学生テスト」は日本最大級の無料公開学力測定試験です。基礎力を問う問題から難関中学受験に必要とされる応用力・思考力を問う問題までバランスよく出題されますので、その時点でのお子様の学力や習熟度を測ることができます。また、毎年6月と11月に小学生全学年を対象として実施されますので、継続的に受験することで、お子様の学力の変化を確認することもできます。

中学受験・高校受験は、多くの場合、地域ごとに行われますが、いずれ迎える大学受験では全国のライバルと競い合うことになります。中学受験をするしないにかかわらず、お子様の将来にとって、有意義な試験であることは間違いありません。継続的にご受験いただくことをおすすめします。

● オープンテスト （ワセアカチャレンジテスト・冬期学力診断テスト）

小3ジュニアコースにお通いでない方も受験できるオープンテストです。その時点でのお子様の習熟度や、思考力、表現力といった、小学校のテストではなかなか測ることのできない力を確認することができます。試験終了後には、答案や帳票を基にした学習カウンセリングを実施し、○×だけではわからないお子様の特性や将来に向けた学習プランなどについてお伝えします。

オープンテストですが、塾生は必修としており別途お申し込みの必要なくご受験いただけます。

講習会

● 春期・夏期・冬期

春期は旧学年の復習と新学年の先取りを行い、自信を持って新学期を迎える準備をします。夏期は主に1学期の復習と2学期の先取り学習を行い、2学期からの学習に余裕を持って臨めるようにします。冬期は2学期の内容の定着を図るとともに、新学年に向けて土台を固めます。

イベント

● 夏フェス

「夏フェス」は毎年大好評をいただいている早稲田アカデミー主催の学校見学会・講演会です。「学校見学会」では、実際に学校へ足を運んで、各中学校の先生のお話や、実際の生徒たちの様子、学校の設備などを確認できます。ご自身の目や耳で実際に確認することで、学校の本当の姿が見えてきます。

● 秋フェス

複数の学校の先生方をお招きし、学校の魅力を直接お話いただく「秋フェス」の講演会では、学校の特徴を深く知ることで、お子様に合った学校を探すことができます。

● 中学入試報告会

「中学入試報告会」では、中学入試概況や次年度入試の展望についてお伝え致します。

早稲田アカデミーの小6難関中学受験対策「NN（何がなんでも）志望校別コース」で指導を行う経験豊富な講師が、科目別の問題分析や傾向について解説いたします。

マンスリーテスト保護者会・解説授業

お子様がテストを受けている最中に「科目学習のポイント」「その日の問題のポイント」「中学入試の最新動向」などをお伝えする保護者会を実施します。テスト・保護者会終了後にお子様と保護者様が合流してから解説授業を行います。解き終えてから時間をおかず、記憶が鮮明なうちに考え方や解き方を確認することで、理解度がより高まります。



国語の学習

ことばの世界を広げながら、論理的な文章読解への第一歩を踏み出す

文章を読解するという行為は、単に字面を追うということではありません。「物語文」「説明文」といった文種ごとに読み方のポイントを知り、実践してみることで、「論理的に読み解きする」ということの第一歩を踏み出しましょう。また、そのためには真に自分のものとして使いこなせることばを増やしていくことも重要です。中学入試へ向けた基本となる言語知識の学習を通じて、お子様の語彙を広げます。

授業の流れの例

漢字テスト 5分	Compass 言語知識 15分	Compass 文章読解演習 35分	まとめ 5分
-------------	---------------------	-----------------------	-----------

※2・3月は50分間です。

持ち物

- 『Compass』
- 『練成問題集』（宿題）

教材の紹介

Compass（コンパス）

授業用

各回ともに文章読解と言語知識の2部構成となっています。中でも文章読解は「基本問題」「発展問題」の2レベルが用意されており、授業内ではクラス状況に応じた問題に取り組みます。また、言語知識は「ことわざ」「慣用句」といった語彙を広げる単元と、「主語・述語」「修飾語」といった文法単元をバランスよく学習します。



練成問題集

家庭学習用

「漢字」を学び、「言語知識」に親しむための問題集です。「漢字」のページは、「漢字の成り立ち（意味）」や「部首・筆順」もイラストで確認できる構成になっています。「漢字チェック」のページから、次の授業で実施する漢字テストが出題されます。また、「言語知識」のページは、意味を覚えるだけではなく、実際に文脈の中で使ってみることでお子様の語彙を広げることを意図したつくりになっています。



宿題の進め方

ご家庭では「漢字」と「言語知識」の学習に取り組んでいただきます。「漢字」は次の授業で実施する確認テストで、その定着度を測ります。一方で、「言語知識」は『Compass』で扱った単元にとらわれず、さまざまな語彙に触れることを目的としています。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間
『練成問題集』 漢字	共通	漢字練習用のノートを用意し、「トメ・ハネ・ハラ」や「筆順」などを意識しながら練習します。	25分 程度
	共通	「漢字チェック(1)」で、定着度を確認します。間違えた漢字は必要に応じてもう一度練習します。	10分 程度
	共通	「漢字チェック(2)」で、定着度を確認します。間違えた漢字は必要に応じてもう一度練習します。	10分 程度
『練成問題集』 言語知識	共通	さまざまな言語知識の定着を図ります。間違えた問題は正しいものを書き写すだけではなく、必要に応じて辞書を引きながら意味も確認しましょう。	15分 程度
			合計 60分 程度



算数の学習

算数の楽しさ、奥深さをギュッと凝縮

算数を好きになるかどうかは、学び方が大きく影響します。時には九九のように暗記することも必要ですが、できれば子どもたちには算数の楽しさや奥深さを知り、算数を好きになってほしいもの。1問1問にきちんと向き合い、考えることで発想を豊かにする……。基礎・基本の学習を大切にしながら、自らの力で筋道を立てて考えるための思考力を育てます。

授業の流れの例

ミニテスト 5分	例題解説・類題演習 30分	練習問題演習 20分	まとめ 5分
-------------	------------------	---------------	-----------

※2・3月は50分間です。

持ち物

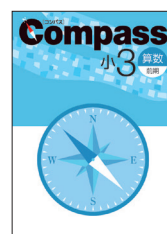
- 『Compass』 ●『練成問題集』（宿題）
- 授業用ノート 1冊

教材の紹介

Compass（コンパス）

授業用

その週に学習すべきポイントが例題・類題としてコンパクトにまとめられています。例題・類題で身につけた知識や考え方が理解できているかどうかを確認する練習問題や、応用問題に加え、単元の興味関心を高めるコラムも収録されています。



練成問題集

家庭学習用

授業で学習した内容を定着させるための演習用教材です。本教材には「基本問題」「練習問題」「チャレンジ」の3レベルの問題が用意されており、この中からクラス・到達度に応じて解くべき問題が指定されます。



宿題の進め方

算数の宿題は全て『練成問題集』から指示を出します。各回には、「基本問題」「練習問題」「チャレンジ」のようにレベル分けされた『Compass』の類題に加え、「頭の体操」という思考力を問うもの、その回の要点をチェックする「チェックテスト」、計算練習用の「計算問題」が載っていて、その中から宿題を指示します。直接書き込んで演習しましょう。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
『練成問題集』 計算問題	共通	2ページの中に4日分の計算問題が掲載されています。1日5分を目安に解いて、丸付けをし、間違えた問題はどこで間違えたのかを確認しましょう。	5分 × 4日	合計 60分 程度
	J1	「基本問題」と「練習問題」から宿題を出します。授業のあった翌日に取り組むと効果的です。	40分 程度	
	J2	「基本問題」と「チェックテスト」から宿題を出します。授業のあった翌日に取り組むと効果的です。	40分 程度	
	共通	算数の得意なお子様は、「チャレンジ」「頭の体操」にも取り組みましょう。	必要に 応じて	



社会の学習 ※4月～開講

世の中へのアンテナを伸ばそう

社会を学ぶうえで大切なこと、それは今、世の中で起こっている出来事に興味を持つということです。そうすることで、子どもたちは社会的現象を自分の頭で考えられるようになります。「社会」を学ぶ第一歩を一緒に踏み出し、世の中へのアンテナを伸ばしていきましょう。

授業の流れの例

デジタル教材を用いた授業内容の解説
35分

まとめ
5分

持ち物

- 『Compass』
- 『練成問題集』(宿題)

教材の紹介

Compass (コンパス)

授業用

カラー写真やイラストが多く盛り込まれた教材です。各回4ページで構成されており、毎回2つほどの都道府県を扱います。見開きで左ページに地図や写真、右ページにイラストや会話文が配置されており、子どもたちがその都道府県のイメージを膨らませやすい構成になっています。また、各回最終ページにあるコラム「なるほど!」は、都道府県に対する興味や理解を深めるためにも重要な読み物です。時間があるときに声に出して読んでみましょう。



練成問題集

家庭学習用

授業で扱った内容を復習するための教材です。「白地図に書いてみよう!」「基本問題」「発展問題」に分かれています。「基本問題」は用語を答える問題が並んでいます。「発展問題」は○×問題と記述問題で構成されており、記述問題には、自分で考え、自分の言葉で表現する問題も含まれます。



宿題の進め方

『練成問題集』を用いた問題演習で、その週に学習した内容を定着させていきます。なかには難しい問題も含まれていますが、その場合は『Compass』やオンデマンド授業を見直してみると良いでしょう。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
『練成問題集』 白地図に 書いてみよう! 基本問題	共通	授業で学習した重要な用語を確認します。定着していない地名などは『Compass』などを使って確認しましょう。	20分 程度	合計 30分 程度
『練成問題集』 発展問題	共通	発展問題は、「○×問題」と「書いてみよう!」で構成されています。「書いてみよう!」は記述問題です。記述問題の丸付けで判断に迷うものがあれば、担当講師までご相談ください。	10分 程度	



理科の学習 ※4月～開講

楽しもう、身近にあふれるいろいろなこと

理科に触れ、理科を楽しむ1年間。まずは、身近なことに興味を持つことから始めます。身近なことに触れ、そして理解を深めていくなかで、考える力を少しずつ伸ばしていきます。身近なことから無理なく学習をスタートさせることで、小4からの本格的な学習をスムーズにしていきます。

授業の流れの例

デジタル教材を用いた授業内容の解説
35分

まとめ
5分

持ち物

- 『Compass』
- 『練成問題集』（宿題）

教材の紹介

Compass（コンパス）

授業用

カラー写真やイラストを見ながら身近にあるいろいろな事柄に触れていきます。後半には「考えてみよう!」や「季節の話題」といったページがあります。「考えてみよう!」では、身近にあるものを題材に、いろいろな現象について考察していきます。時には複雑な現象も扱いますが、文章を読みながら考えていく形式になっていますので、無理なく考えを深めていくことができます。「季節の話題」では、身近な草花や昆虫、星座などを紹介します。今、観察することができるものをカラー写真で紹介していくことで、興味を深めるとともに、季節感を感じられるようにしていきます。



練成問題集

家庭学習用

授業で扱った内容を復習するための教材で、「基本問題」と「発展問題」に分かれています。「基本問題」では重要な用語や図などを確認します。わからない問題は『Compass』を見ながら解いても構いません。「発展問題」は「書いてみよう!」と「描いてみよう!」の2題構成で、記述問題や作図問題にもチャレンジしていきます。手を動かしながら考えることで、表現力を豊かにしていきます。



宿題の進め方

宿題は『練成問題集』で、「基本問題」と「発展問題」に分かれています。「基本問題」は授業で扱った内容を復習するために使用しますが、学習内容の理解をさらに深めるための、長い文章を読みながら穴埋めをする問題もあります。『Compass』を見ながら解いても構いません。「発展問題」は記述と作図問題がありますが、決して易しいものではありませんので、余力があれば取り組んでください。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
『練成問題集』 基本問題	共通	授業で学習した重要な図や用語を確認します。わからない問題がある場合は、『Compass』を見ながら解いても構いません。	20分 程度	合計 30分 程度
『練成問題集』 発展問題	共通	「書いてみよう!」は記述問題です。「描いてみよう!」は作図問題です。上手な文章、図がかけなくても気にする必要はありません。少しずつ表現力を磨いていきましょう。	10分 程度	



3JSクラス

コンセプト

「ミスを恐れないお子様へ、挑戦を楽しめる環境を」

中学受験はお子様の長所をより伸ばし、将来の可能性を広げるためのもの。

ところが気がつく、「ダメなところを補正しなければならない」と弱点ばかりに目が行くものです。

それはなぜか。

算数のテストでは、上位クラスを維持するために、「前半の基礎的な問題をしっかり解く」、「ミスを防ぐために見直しをする」というように、どうしても勉強の主軸が解ける問題を確実に正解することに置かれがちだからです。その結果、「後半の正答率が低い問題は落としてもいい」＝「捨て問」と判断するようになります。

果たして、未来の日本を背負って立つ彼らへの指導は、本当にそれで良いのでしょうか。

もちろん、入試本番は点数が高い人から合格する以上、受験指導として正解できる問題を確実に取り切る力は絶対が必要です。

でも、小3の学習は、本当にそこに力を割くべきなのでしょうか。

もっと、本質を育ててあげたい。

考えること、挑戦することは楽しいということを、彼らに伝えたい。

勉強はドキドキする時間の連続であるということを、彼らに教えてあげたい。

知識重視、反復学習では太刀打ちできない、

思考力と分析力が求められる、彼らをワクワクさせる論理の問題たち。

そんな問題を小3から学べる環境、それが3JSクラス。

小6になってから初めて難問への訓練をするのではなく、

解けないからこそ算数は楽しいということを彼らに伝えていきたい。

単元学習から離れ、その場で咄嗟の判断と選択ができる思考力を養う空間。

3JSクラスが2026年も開講します。

クラスのご紹介

中学受験の最高峰を目指し、最高品質と最大成果を探し求め続ける皆様に

早稲田アカデミーが提案する「本物の力」を養成する学び舎、それがSPICAです。

SPICAは2016年に自由が丘に誕生し、2025年入試で116名の小6在籍生から

筑駒・開成・灘に148名の合格者を輩出しました。

2026年、お子様へ早稲田アカデミーから提案です。

早稲田アカデミーの小3JコースにこのSPICAの論理の指導が加わった特化クラス「3JS」。

「本物の力」を養成する「3JS」が、2026年は早稲田アカデミー拠点21校舎で開講いたします。



3JSで扱う問題に挑戦

問題例

1

さあ、筆記用具を置いて、頭の中だけで考えてみよう！

太郎、次郎、三郎、四郎の4人が算数のテストを受けました。このテストの合格点は80点以上で、4人のうち合格したのは2人でした。以下は4人の会話です。

太郎「僕は見事に合格したけれど、三郎は不合格だったよ!」

次郎「僕と三郎の2人が合格でした。」

三郎「太郎君と四郎君の2人が合格だったね。」

四郎「次郎君は絶対に不合格です!」

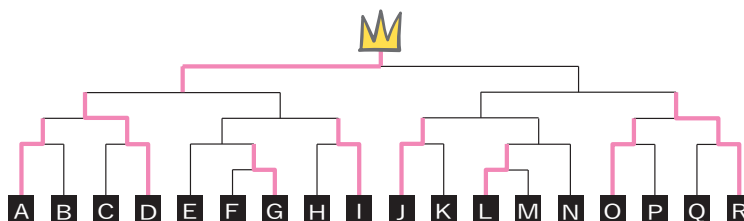
合格した2人と、不合格のうちの1人は正しいことを言っていますが、不合格になったもう1人はウソをついています。このとき、合格した2人は誰と誰ですか。



問題例

2

A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, Rの18チームが参加するサッカーのトーナメント大会が開かれました。結果は図の通りになり、さらに以下のことが分かっています。



- [分かっていること]
- ① 3回勝ったチームは1チームしかありませんでした。
 - ② 4回勝ったチームは2チームありました。
 - ③ 5回勝ったチームはありませんでした。

このトーナメントを太線でなぞって完成させなさい。

3JSクラス概要

クラス分け ▶ 塾生対象「マンスリーテスト」(年5回)の結果を参考にクラス分けを行います。

設置校舎 ▶ 東京 : ExiV御茶ノ水校、ExiV渋谷校、ExiV新宿校、ExiV西日暮里校、池袋校、品川校、豊洲校、練馬校、吉祥寺校、月島校
 神奈川: ExiVたまプラーザ校、武蔵小杉校、川崎校、横浜校
 埼玉 : 武蔵浦和校、志木校、大宮校
 千葉 : 海浜幕張校、千葉校、流山おおたかの森校
 茨城 : つくば校

※本クラスでは、算数のみ3JS専用教材を使用します。国語・理科・社会は3J1の授業内容に準じています。

プレ期カリキュラム

2・3月（プレ第1～5回）

	国 語		算 数
第 1 回	物語文(1)	かなづかい	かけ算①
第 2 回	物語文(2)	部首	時こくと時間
第 3 回	物語文(3)	四字熟語(1)	わり算①
第 4 回	説明文(1)	ことわざ(1)	立体図形①
第 5 回	説明文(2)	慣用句(1)	円と球

※こちらのカリキュラムは予定です。変更になる場合がございます。

第 1 回

国 語

● 物語文(1)

学習内容 ■条件を守って答えよう

文章読解における設問は、「記号選択」「抜き出し」「記述」という3パターンに分類できます。各設問パターンに応じた考え方・答え方を身につけましょう。

● かなづかい

学習内容 ■かなづかいを書き分けよう

「う」と「お」、「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」といった間違えやすいかなづかいを、正しく書き分けられるようになることを目指します。

算 数

● かけ算①

学習内容 ■2けた×1けた
■3けた×1けたの計算

まずは「かけ算」が意味することを正しく理解するところから始めましょう。特に「かける数・かけられる数のどちらかが0⇒答えが0になる」と、「かける数とかけられる数を入れかえる⇒答えは変わらない」ことを理解することが重要です。また、「10のかけ算」では、10とある数をかける際に、「0をあとまわしにする」という方法を身につけることで、効率よく計算ができるようにしていきましょう。最後に、この回では「かけ算のひっ算」を学習します。正確に計算するためには、まず「ひっ算を丁寧に書く」姿勢を身につけることが重要です。

第 2 回

国 語

● 物語文(2)

学習内容 ■正しく抜き出そう

「抜き出し問題」について、「はじめの五字を抜き出す」といった条件を正しく守り、本文中の表記の通りに正確に解答できるようになることを目指します。

● 部首

学習内容 ■基本的な部首を知ろう

まずは、「へん」「つくり」「かんむり」「たれ」「によ」「かまえ」「あし」という部首の7つの基本パターンについて学びます。そのうえで、それぞれの代表的な部首を身につけていきます。

算 数

● 時こくと時間

学習内容 ■時間の単位 ■24時制
■時間の和と差

まずは「1時間=60分」「1分=60秒」「1日=24時間」「午前12時=午後0時」ということを覚えることがスタートです。また、「24時制」についてもあわせて理解しましょう。そのうえで、「時間のたし算とひき算」を正確にできるようになることが、この回の最終的な目標です。筆算を利用して、くり上がり・くり下がりに注意しながら、練習を重ねていきましょう。

《出題例》

(1) 午前8時30分から1時間35分後は午前何時何分ですか。

(2) 午前10時20分から午後1時40分までは何時間何分ありますか。

第3回

国語

● 物語文(3)

学習内容 ■記述を書いてみよう

「記述問題」について、一定の手順で解答を組み立てることを習慣付けましょう。この回ではまず、「設問」の条件を丁寧に押さえることを学習します。

● 四字熟語(1)

学習内容 ■数字が入った四字熟語

基本となる四字熟語を覚えていきましょう。

《この回に登場する主な四字熟語》

一石二鳥 一日千秋 一朝一夕 十人十色 百発百中

算数

● わり算①

学習内容 ■わり算の意味の理解
■2けた÷1けた

まずは「わり算」が意味することを正しく理解するところから始めましょう。はじめのうちはえんぴつやリボンなど具体的なものを分ける場合をイメージして、「わる数」「わられる数」や「商」が何を意味するのかを正しく掴むことが大切です。また、「10のわり算」では、かけ算のときと同様に「0」を効率良く処理する計算手法を身につけましょう。

第4回

国語

● 説明文(1)

学習内容 ■いろいろな接続語

論理展開を明示してくれる「接続語」に着目することは、説明文を読むうえで大変重要です。この回ではまず、「順接」「逆接」「並列」といった10種類の接続語の働きを身につけます。

● ことわざ(1)

学習内容 ■動植物が入ったことわざ(1)

動植物を含む基本的なことわざを覚えます。

《この回に登場する主なことわざ》

猫に小判 月とすっぽん 豚に真珠 猿も木から落ちる

算数

● 立体図形①

学習内容 ■つみ木の積み上げ
■立方体の展開図・投影図

まずは、「立方体」や「てんかい図」とはどのようなものかを理解するところから始めます。そのうえで、立方体を積み重ねた図形について、「何このつみ木があるか」や「正面・真上・右横から見たときの形」、「つみ木にあなをあけたときに、あなのあく立方体の数」を求める問題へと進んでいきます。これらを解く際には、「1段ずつ状況を調べる」ことや、「段ごとに真上から見た図に状況を整理する」ことがポイントです。立体を立体のまま考えるのではなく、平面に落とし込んで考えることは、中学入試においては必須の手法です。

第5回

国語

● 説明文(2)

学習内容 ■こそあど言葉が指すことは？

「指示語」について、一定の手順に従って、正確に指示内容を捉える練習を重ねます。

● 慣用句(1)

学習内容 ■体の一部が入った慣用句(1)

体の一部を含む基本的な慣用句を覚えます。

《この回に登場する主な慣用句》

耳が痛い 口が軽い 口を割る 目が高い 目がない

算数

● 円と球

学習内容 ■円と球の性質とさまざまな問題

まずは、「円」とはどういうものか(ある点からの長さが、同じ長さになる点を結んだもの)について理解し、あわせて「中心」「半径」「直径」という用語の意味についても押さえるところから始めましょう。そのうえで、コンパスが円をかくことだけでなく、長さをうつし取ることができるものであることを知り、実際にコンパスを使えるようにしていきます。また、この回の後半では、「球」についてもその概念と性質について学び、球を用いた図形問題にもチャレンジしていきます。

前期カリキュラム

4月～7月（前期第1～10回）

	国 語		算 数
第 1 回	物語文(4)	ことばのきまり(1)	わり算②
第 2 回	物語文(5)	熟語の組み立て(1)	計算の順序
第 3 回	物語文(6)	四字熟語(2)	正方形と長方形
第 4 回	説明文(3)	ことわざ(2)	資料の整理
第 5 回	説明文(4)	慣用句(2)	□をもとめる式
第 6 回	物語文(7)	ことばのきまり(2)	小数①
第 7 回	物語文(8)	熟語の組み立て(2)	小数②
第 8 回	物語文(9)	四字熟語(3)	立体図形②
第 9 回	説明文(5)	ことわざ(3)	かけ算②
第 10 回	説明文(6)	慣用句(3)	条件整理と推理

	社 会	理 科
第 1 回	日本ってどこ？ ～地球の中の日本～	食卓にならぶ植物
第 2 回	沖縄県 ～沖縄県のむかしといま～	食卓にならぶ動物
第 3 回	鹿児島県と宮崎県 ～桜島と日本のひなた～	水の不思議
第 4 回	熊本県と大分県 ～火山がもたらすめぐみ～	台所の水溶液
第 5 回	佐賀県と長崎県 ～歴史あふれる佐賀・長崎～	いろいろな花の色
第 6 回	福岡県と山口県 ～本州と九州をむすぶ県～	植物のからだ
第 7 回	鳥取県と島根県 ～水と砂の県～	昆虫のからだ
第 8 回	岡山県と広島県 ～平和のまち ひろしま～	幼虫と成虫が似ている昆虫
第 9 回	愛媛県と香川県 ～瀬戸内のくらしって？～	幼虫と成虫が似ていない昆虫
第 10 回	徳島県と高知県 ～藍とかつお～	地面に見える石

※こちらのカリキュラムは予定です。変更になる場合がございます。

第1回

国語

● 物語文(4)

学習内容 ■いつ・どこで・だれが・どうした

「場面」を構成する「いつ(時)」「どこで(場所)」「だれが(登場人物)」「どうした(出来事)」という4つの要素を正確に押さえることを目指します。

● ことばのきまり(1)

学習内容 ■主語・述語をとらえる

文の中から、軸となる大切な要素である「主語」「述語」を見抜く練習を重ねます。特に「主語」は、「～が」「～は」だけでなく、「～も」「～こそ」などのパターンも存在することがポイントです。

算数

● わり算②

学習内容 ■あまりのあるわり算
■わり算の筆算

わり算の筆算とさまざまなタイプの文章題の演習を重ねていきます。まずは、あまりのあるわり算の式と答えをかけ算の式に変換できるようにしましょう。また、わり算の計算方法(筆算)を身につけ、文章題に応用できる力を磨いていくことも大切です。

《出題例》

28このボールを、大きいかごか小さいかごにしまいます。4つの大きいかごに同じこ数をしまうと、1つのかごにしまうボールの数は何こですか。また、小さいかごに5こずつしまうと、全部しまうには小さいかごは何かごひつようですか。

社会

● 日本ってどこ? ～地球の中の日本～

学習内容 ■地球の中の日本

まずは、わたしたちが住んでいる日本という国が、世界の中で「どこに位置しているのか」について触れます。そのあと、日本が島国であること、そして、いくつかの島によって成り立っている国であるということを学習します。日本をつくりだす4つの島と、8つの地方については名前と形を理解することが目標です。

理科

● 食卓にならぶ植物

学習内容 ■植物のつくり、野菜の食用部分、穀物についてなど

根・くき・葉・花のつくりを理解します。細かいことは今は今後学習するので、各部分について簡単な理解ができていれば構いません。また、いろいろな野菜の食用部分を確認しますが、全てを覚える必要はありません。加えて、三大穀物についても紹介します。食卓にならぶ食品のなかに、どのような植物が含まれているのか、興味を持つことが目標です。

第2回

国語

● 物語文(5)

学習内容 ■場面分けをしよう!

前期第1回で学習した「場面」を構成する4つの要素について、それらが大きく変わるところで「場面分け」の線を引くように習慣付けましょう。

● 熟語の組み立て(1)

学習内容 ■似た意味／反対の意味の熟語

「熟語の組み立て」のうち、「学習」「思考」のように「似た意味の漢字を組み合わせた熟語」と、「遠近」「父母」のように「反対の意味や対の意味の漢字を組み合わせた熟語」というパターンを中心に扱います。

算数

● 計算の順序

学習内容 ■計算の順序
■四則計算

計算のきまりを理解し、正しく計算かつ正解できるようにする回です。まずは、四則混合計算や()のある式の計算の順序を理解しましょう。また、2つの式を計算のきまりにしたがって1つの式にまとめる練習もしていきます。そして、最終的には文章題において、()などを用いながら効率的に立式できるようになることが目標です。

《出題例》

全部で360ページある本があります。この本を、1日に25ページずつ7日間読みました。
(1) のこりのページ数を求める式を、1つの式で表しなさい。
(2) のこりのページ数は何ページですか。(1)で求めた式を計算して答えなさい。

社会

● 沖縄県 ～沖縄県のむかしといま～

学習内容 ■沖縄県の特長について学ぶ

沖縄県が「1年を通してなぜあたたかいのか?」をテーマに、沖縄県の地形や暮らしについて学んでいきます。島全体が水を通しやすい地形(岩)であるため、水不足になりやすいといった特徴を掴むことができたなら、沖縄県の家づくりについて詳しく見ていきます。むかしといまを比べることで沖縄の人々の暮らしの違いに気づくことができるでしょう。

理科

● 食卓にならぶ動物

学習内容 ■せきつい動物、食卓にならぶ動物とその利用など

せきつい動物(魚類・両生類・は虫類・鳥類・ほ乳類)の簡単な分類を理解したのち、サケ・ニワトリ・ブタ・ウシなどの日本で食用とされる動物がどのような形で食卓に並ぶのかを学びます。前回同様、身近な食品のなかにも理科を感じ、興味を持つことが目標です。

国語

● 物語文(6)

学習内容 ■いろいろな気持ち

さまざまな「心情語」を、「プラスの(良い)気持ち」と「マイナスの(悪い)気持ち」に分類しながら身につけていきましょう。

● 四字熟語(2)

学習内容 ■覚えておきたい四字熟語

ブレ第3回では「数字が入った四字熟語」を扱いましたが、今回はそれ以外の基本となる四字熟語を覚えていきます。

《この回に登場する主な四字熟語》

異口同音 以心伝心 弱肉強食 電光石火 自画自賛

算数

● 正方形と長方形

学習内容 ■正方形と長方形の性質
■広さ

まずは、正方形・長方形の辺の長さの性質を理解し、まわりや各辺の長さを効率的に求められるようにしましょう。次に、マス目の中で、正方形・長方形を作図できるように練習します。そのうえで、マス目の中の図形の広さを、マスの個数に換算して求められるようになることが、この回の最終目標です。

社会

● 鹿児島県と宮崎県 ～桜島と日本のひなた～

学習内容 ■鹿児島県と宮崎県の特長について学ぶ

まずは、鹿児島県と宮崎県の位置・形・県庁所在地を確認します。そして、鹿児島県と宮崎県に広がるシラス台地について、「そもそもシラスとは何なのか？」を学んでいきます。また、宮崎平野でのビニールハウスを使った栽培方法について「早づくりをするのとどのような利点があるのか？」を考えることで促成栽培に関する理解を深めていきます。

理科

● 水の不思議

学習内容 ■水のすがた、蒸発とふっとうの違いなど

物質の三態(固体・液体・気体)を理解したのち、水のすがたについて具体的な事象をもとに考えていきます。また、自然のなかにある水のすがたについても目を向けていきます。家庭のなかには水が多くあります。どのような場所に水がかくれているのか、家庭のさまざまなものにも目を向けていくことが目標です。

国語

● 説明文(3)

学習内容 ■何について説明している？

説明文を読むうえでは、はじめに「話題」をつかむことが必須です。特に「問いかけ」の言い回しに着目できるようになると、話題がつかみやすくなります。

● ことわざ(2)

学習内容 ■動植物が入ったことわざ(2)

ブレ第4回で学習した「動植物が入ったことわざ」の続きを覚えていきます。

《この回に登場する主なことわざ》

虻蜂取らず 雀百まで踊り忘れず 能ある鷹は爪を隠す

算数

● 資料の整理

学習内容 ■相関表・棒グラフ・折れ線グラフの読み取り

相関表・棒グラフ・折れ線グラフを読み取ることと、正しくかく(整理する)ことができるようになることが目標です。特に棒グラフ・折れ線グラフでは、「たてのメモリがいくつ分を指すのか」に注意するようにしましょう。

上記に加えて、棒グラフ・折れ線グラフの使い分け方まで理解の幅を広げていきたいものです。

社会

● 熊本県と大分県 ～火山がもたらすめぐみ～

学習内容 ■熊本県と大分県の特長について学ぶ

まずは、熊本県と大分県の位置・形・県庁所在地を確認します。阿蘇山は広大なカルデラをもつ火山として有名ですが、「そもそもカルデラとは何か？」を理解することが大切です。また、火山の熱を利用した発電である地熱発電の仕組みについてくわしく見ていきます。火山があるところには温泉があることが多いように、火山がもたらすめぐみについても理解していくことが大切です。

理科

● 台所の水溶液

学習内容 ■溶解、家の中にある水溶液の性質など

物が水に溶ける前後のようすから、「物が溶ける」とはどういうことを理解します。また、ムラサキキャベツ液を加えたときの水溶液の色の変化を確認しますが、個々の水溶液の液性(酸性・中性・アルカリ性)を完璧に覚える必要はありません。この液体にムラサキキャベツ液を加えたらどういう色になるのだろうと、身の回りにあるものの性質に目を向けていきます。

第5回

国語

● 説明文(4)

学習内容 ■段落を意識して読もう！

説明文を読む際には「形式段落」を意識し、各形式段落の「要点」をつかみながら読み進めることが大切です。

● 慣用句(2)

学習内容 ■体の一部が入った慣用句(2)

ブレ第5回で学習した「体の一部が入った慣用句」の続きを覚えていきます。

《この回に登場する主な慣用句》

目が回る 鼻が高い 顔が広い 首を長くする

算数

● □をもとめる式

学習内容 ■線分図を用いて□を求める

まずは、線分図や文章題の中にある□にあてはまる数を求める練習を重ねていきます。そのうえで、複雑な文章題について、自分で□を使った式を立てるとともに、それを線分図で表し、“目を利用して(視覚的に)”□にあてはまる数を正しく求められるようにすることがこの回の目標です。

社会

● 佐賀県と長崎県 ～歴史あふれる佐賀・長崎～

学習内容 ■佐賀県と長崎県の特長について学ぶ

まずは、佐賀県と長崎県の位置・形・県庁所在地を確認します。有明海に広がる干拓地について、「干拓とはなにか？」を理解したのち、そこではどのような生物がくらし、どのような産業が営まれているのかを理解することが大切です。また、長崎県は古くから外国との窓口として発展した場所です。そのなごりがある身近な食べ物を見ていくことで、歴史ある長崎のイメージを深めていきます。

理科

● いろいろな花の色

学習内容 ■花のつくり、花の色、帰化植物など

花のつくりについて第1回よりもさらに詳しく確認します。花の四要素(がく・花びら・おしべ・めしべ)の役割を理解したのち、いろいろな花を色ごとに確認します。どの写真がどの植物か、どの植物がどの色かなど、全てを覚えようとすることは避けてください。「家の近くに赤い花はないかな、めずらしい花はないかな」などというように、今まで以上に興味を持つことができるようになることが目標です。

第6回

国語

● 物語文(7)

学習内容 ■どんな気持ちかな？

登場人物の心情を読み取る際には、「出来事→気持ち→反応」というつながりを意識しながら、論理的に捉えることが大切です。

● ことばのきまり(2)

学習内容 ■修飾・被修飾関係を捉える

前期第1回で学習した「主語・述語関係」に続けて、「修飾・被修飾関係」を見抜く練習を重ねます。「傍線が引かれた修飾語が、どの文節を修飾しているかを答える」という頻出の設問パターンを攻略しましょう。

算数

● 小数①

学習内容 ■小数とその仕組みの理解
■単位のついた小数

「小数」について学習するにあたり、まずは「整数(0を含み、1、2、3……のような数)」について理解しましょう。そのうえで、小数について「小数の意味と表し方」と「小数の加法と減法」まで学習していきます。また、ここで「数直線」についても読み取り方・表し方を理解し、使いこなせるようにしていきます。今回は小数第一位までしか扱いませんので暗算でもミスなく処理できてしまうお子様も多いはずですが、このあと学年が上がるにつれて乗法・除法なども加わり、扱う桁が増えると暗算では処理できなくなっていきます。その際の計算ミスを防ぐために、この回で「小数点をそろえて計算する習慣」を徹底するようにしましょう。

社会

● 福岡県と山口県 ～本州と九州をむすぶ県～

学習内容 ■福岡県と山口県の特長について学ぶ

まずは、福岡県と山口県の位置・形・県庁所在地を確認します。福岡県にある八幡製鉄所は、日本を代表する鉄をつくる工場でした。「なぜここで鉄がつくられていたのか？」を理解しましょう。また、山口県の秋吉台は石灰岩がつくりだすカルスト地形が広がる台地です。そこでとれた石灰岩はセメントに加工されます。セメントが私たちの生活にどう役立っているのかを考えることで、よりいっそう身近に感じられるでしょう。

理科

● 植物のからだ

学習内容 ■植物のつくり、単子葉植物・双子葉植物など

根・くき・葉のはたらきを確認したのち、単子葉植物・双子葉植物のつくりの違いを、さまざまな写真で確認していきます。身近な植物について目を向けていくとともに、なぜこのような形状やはたらきをするのだろうと、考えるようになることが目標です。

国語

● 物語文(8)

学習内容 ■ 気持ちの揺れ動きを捉えよう！

物語文の中では登場人物の心情が揺れ動きます。前期第6回で学習したように「出来事→気持ち→反応」というつながりを意識しながら、文章全体での心情変化を捉えましょう。

● 熟語の組み立て(2)

学習内容 ■ 主語・述語／修飾・被修飾の熟語

「熟語の組み立て」のうち、「国立」「地震」のように「上」の字が主語、下の字が述語の関係になる熟語と、「親友」「海水」のように「上」の字が下の字を詳しく説明している熟語」というパターンを中心に扱います。

算数

● 小数②

学習内容 ■ 小数第二位までの計算
■ 単位の換算

まずは、「1」「0.1」「0.01」の大きさの関係を理解し、その書き表し方を理解しましょう。次に、小数第二位までの加法・減法を筆算でミスなく処理する練習を重ねていきます。また、「かさ」「長さ」「重さ」「時間」についても、スムーズに換算できるようにしていきましょう。最後に、異なる単位が混ざっている文章題について、求める単位に換算し、正確に答えを導けるようにしていくことがこの回の最終目標です。

《出題例》

よし子さんの家では、1.2L入りの牛乳パックを毎日1パックずつ飲んでいきます。お父さんが400mL、お母さんが0.25L、よし子さんが0.2L、お兄さんがのりを飲んでいきます。お兄さんが毎日飲む牛乳の量は何Lですか。

社会

● 鳥取県と島根県 ～水と砂の県～

学習内容 ■ 鳥取県と島根県の特長について学ぶ

まずは、鳥取県と島根県の位置・形・県庁所在地を確認します。広大な砂丘である鳥取砂丘が、どのようにしてできたのか、その過程を理解することが大切です。一方、島根県は縁結びの神様として有名な出雲大社や、世界遺産に登録されている石見銀山などたくさんの歴史が詰まっている県です。また、この地域ではとくに若者の人口が減っています。なぜ減ってしまうのか、そして、減ってしまうとどのような問題が起こるのかについて一緒に考えます。

理科

● 昆虫のからだ

学習内容 ■ 昆虫のからだ、昆虫の鳴き声など

昆虫の特徴を理解します。また、口やあしなど、目的に応じたつくりの違いなどを確認したり、実際の昆虫の鳴き声を聞いたりします。昆虫が好きなお子様はより好きに、昆虫が苦手なお子様は少しでも興味を持って昆虫に目を向けることができるようになるのが目標です。

国語

● 物語文(9)

学習内容 ■ どんなことを伝えたい話かな？

物語文において「作者が最も伝えたいこと」を「主題」といいます。この回では、文章全体を大きく見渡し、「主題」を捉えることが目標です。

● 四字熟語(3)

学習内容 ■ 難しい四字熟語

今回は難度が高い四字熟語を身につけていきます。

《この回に登場する主な四字熟語》

意味深長 我田引水 温故知新 単刀直入 付和雷同

算数

● 立体図形②

学習内容 ■ 立方体と直方体
■ すい体の性質

まずは、立方体・直方体の概念や辺・面・ちょう点の各名称および性質を理解するところからスタートしましょう。次に、「てんかい図」については、「向かい合う面」や「かさなるちょう点や辺」の位置を見抜く練習を重ねていきます。

《向かい合う面》

□□の○をつけた面のように、間に一つだけ面が入る2面が向かい合う面となる。必ず2面ずつ3組ある。

《かさなるちょう点や辺》

立体に組み立てたときに最も遠いちょう点（てんかい図上で□□のような位置になる。よって「かさなるちょう点」は「最も遠いちょう点の、最も遠いちょう点」なので、□□□□のように求められる。

社会

● 岡山県と広島県 ～平和のまち ひろしま～

学習内容 ■ 岡山県と広島県の特長について学ぶ

まずは、岡山県と広島県の位置・形・県庁所在地を確認します。岡山県には対岸の香川県とを結ぶ瀬戸大橋がかかっています。瀬戸大橋がかかったことで人々の生活がどのように変化したのかを考えることが大切です。また、広島市は、川がつくりだした三角州とよばれる地形の上に成り立っています。三角州とはいったいどのような地形なのかということはもちろん、三角州はどのようにしてできたのか、その過程を理解することも大切です。

理科

● 幼虫と成虫が似ている昆虫

学習内容 ■ 幼虫と成虫が似ている昆虫

不完全変態の昆虫について、グループごとに確認していきます。また、生物どうしの助け合いや、色鮮やかな昆虫などを確認していくなかで、さらに昆虫について調べてみよう、感動できるものを見つけてみようとしていくことが目標です。

第9回

国語

● 説明文(5)

学習内容 ■ 段落関係を見抜こう！

前後の形式段落のつながりを意識しながら読み進め、文章をいくつかの「意味段落」にまとめることを学びます。

● ことわざ(3)

学習内容 ■ ものや道具が入ったことわざ

この回では「ものや道具が入ったことわざ」を覚えていきます。お子様にとってなじみのない「もの」や「道具」も登場しますので、それらがどのようなものなのかを確認しながら覚えていくことが大切です。

算数

● かけ算②

学習内容 ■ 2けた×2けたのかけ算・計算の工夫

2けた×2けたのかけ算を、丁寧に筆算を書き、正確に計算できるようにしていきましょう。ポイントは「丁寧に、たての位をそろえてひく算を書く」ことです。「雑に書く⇒ミスが起きる」ことが習慣になってしまうとなかなか直りませんので、ここで正しい姿勢を身につけましょう。また、かけ算を「工夫して計算できないか」考えてから計算を始める習慣付けも行いましょう。一の位から順に0の続く数字のかけ算については、一の位から続く0以外の計算をして、求めた数の後ろに0を付けて答えにたどり着くという手法についても身につけましょう。

《出題例》

- (1) $2 \times 18 \times 5$ (2) 25×16
(3) 60×40 (4) 520×30

社会

● 愛媛県と香川県 ～瀬戸内のくらしって？～

学習内容 ■ 愛媛県と香川県の特長について学ぶ

まずは、愛媛県と香川県の位置・形・県庁所在地を確認します。愛媛県ではみかんの栽培がさかんです。そもそもみかんはどのような環境や条件で育つのかについて理解をすることが大切です。そのあと、海沿いに広がる段々畑について学習をしていきます。香川県は海をはさんで北を中国山地、南を四国山地や讃岐山脈にはさまれているため、1年を通して降水量が少なくなります。なぜ降水量が少なくなるのかを地形から理解することが大切です。

理科

● 幼虫と成虫が似ていない昆虫

学習内容 ■ 完全変態の昆虫

完全変態の昆虫について、はねのつくり注目しながらグループごとに確認していきます。また、擬態する昆虫とその目的、前回に続いて色鮮やかな昆虫などを確認していくなかで、興味を最大限に引き出していくことが目標です。

第10回

国語

● 説明文(6)

学習内容 ■ 何が言いたい文章なのかな？

説明文において「筆者が最も言いたいこと」を「要旨」といいます。この回では、文章全体を大きく見渡し、「要旨」を捉えることが目標です。

● 慣用句(3)

学習内容 ■ 動植物が入った慣用句

この回では「動植物が入った慣用句」を覚えていきます。

《この回に登場する主な慣用句》

馬が合う 犬猿の仲 雀の涙 青菜に塩 瓜二つ

算数

● 条件整理と推理

学習内容 ■ 表や線分図を描いて考える

順位や大小について文章中の「会話」や「条件」を正しく読み取り、表や線分図に整理しながら、論理的に答えを導く練習を重ねていきましょう。

《出題例》

えみさん、りんさん、ゆう子さん、まさえさんが、自分たちの身長について次のように話しています。

りん 「わたしはまさえより低いけれど、ゆう子よりは高いわ」

えみ 「わたしは1番高くはないけれど、1番低くもないわ」

まさえ 「わたしの次に高いのはえみではなかったわ」

このとき、身長が2番目に高い人と3番目に高い人を答えなさい。ただし、同じ身長の人はいません。

社会

● 徳島県と高知県 ～藍とかつお～

学習内容 ■ 徳島県と高知県の特長について学ぶ

まずは、徳島県と高知県の位置・形・県庁所在地を確認します。徳島平野には吉野川が流れています。この川がもたらす恵みについて理解することが目標です。また、高知平野ではビニールハウスを使った促成栽培がさかんです。宮崎県について学習した第3回に引き続き、その仕組みと工夫について確認をしていきましょう。

理科

● 地面に見える石

学習内容 ■ 堆積岩、火成岩など

いろいろな石について、実際の使用例を見ながら写真を確認していきます。堆積岩や火成岩から、変成岩やちょっと変わった石まで、歴史的建造物や芸術品、観光名所などを見ていながら、岩石のつくりやその成り立ちを確認します。これまで意識していなかったものなどに目を向けていくのが目標です。

後期カリキュラム 9月～1月(全15回)

	国語		算数
第1回	物語文(1)	ことばのきまり(1)	おおきな数とおよその数～大きな数の位と概数について学ぶ～
第2回	物語文(2)	熟語の組み立て(1)	植木算～間の数と木の数の関係を理解する～
第3回	物語文(3)	類義語(1)	和差算～線分図を描いて考える①～
第4回	説明文(1)	ことわざ(1)	三角形の性質～いろいろな三角形と広さを考える～
第5回	説明文(2)	慣用句(1)	わり算③～2けた・3けた÷2けたと筆算～
第6回	物語文(4)	ことばのきまり(2)	分配算～線分図を描いて考える②～
第7回	物語文(5)	熟語の組み立て(2)	場合の数～樹形図の学習／カードの並べ替え～
第8回	物語文(6)	対義語(1)	角度～同位角・さっ角／三角形の外角～
第9回	説明文(3)	ことわざ(2)	分数①～分数の概念／大小／加減～
第10回	説明文(4)	慣用句(2)	分数②～分数と小数、仮分数と帯分数～
第11回	物語文(7)	類義語(2)	周期算～「繰り返し」を考えて解く問題～
第12回	説明文(5)	対義語(2)	さいころ～さいころの性質～
第13回	詩	故事成語	立体図形③～展開図に関する問題～
第14回	物語文(8)	ことわざ(3)	文章題のまとめ～小3で学習した文章題の復習～
第15回	説明文(6)	慣用句(3)	図形のまとめ～小3で学習した図形問題の復習～

	社会	理科
第1回	京都府と奈良県～都をたずねてみよう～	地面に見える水
第2回	大阪府と和歌山県～商いのまちとくだもの～	空に見える水
第3回	兵庫県と滋賀県～天下の台所への物資～	食塩と砂糖
第4回	愛知県と三重県～日本のものづくり地域～	ろうそくの燃え方
第5回	長野県と岐阜県～海のない県の生活と工夫～	毛のある動物
第6回	山梨県・静岡県・埼玉県～結びつく3つの県～	羽のある動物
第7回	東京都と神奈川県～なぜ京浜？～	毛も羽もない動物
第8回	茨城県と千葉県～茨城県と千葉県のつながりとは？～	人体の不思議
第9回	栃木県と群馬県～関東の北はどんなところ？～	鏡で光を集めよう
第10回	石川県と福井県～日本海のめぐみ～	音の高さを変えてみよう
第11回	新潟県と富山県～日本の米どころとチューリップ～	磁石につくものとつかないもの
第12回	山形県と福島県～くだものづくりがさかんな県～	電気が流れるものと流れないもの
第13回	宮城県と岩手県～川で結びつく2つの県～	星
第14回	秋田県と青森県～すぎとひば～	月
第15回	北海道～ナンバーワンがたくさん！～	太陽

※こちらのカリキュラムは予定です。変更になる場合がございます。

第1回

国語

● 物語文(1)

学習内容 ■場面を正確に捉えよう！

「いつ(時)」「どこで(場所)」「だれが(登場人物)」「どうした(出来事)」という4つの要素を正確に捉え、それらが大きく変わるところで「場面を分ける線」を引く習慣付けをします。

● ことばのきまり(1)

学習内容 ■複雑な主語・述語を捉える

一定の手順に従って、文中の主語・述語を正確に見抜く練習を重ねます。

算数

● おおきな数とおよその数 ～大きな数の位と概数について学ぶ～

学習内容 ■大きな数
■以上・以下・未満
■切り上げ・切りすて・四捨五入
■がい数とはん囲

はじめに「10進法」の概念と位取りの仕組みを学習し、位の違いによる大きさの関係や、漢数字と算用数字の変換などについて問題演習を行います。次に、「以上・以下・未満」という表現の意味を学習します。これらを間違えずに使いこなせるようにすることがこの回の最大のポイントです。また、最後に「がい数」についても触れます。「切り上げ・切りすて・四捨五入」について理解し、これらを正確に作業できるようにすることを目指します。

社会

● 京都府と奈良県 ～都をたずねてみよう～

学習内容 ■京都府と奈良県の特長について学ぶ

京都府と奈良県に共通する特長は「かつて日本の都であった」ということです。時代は異なりますが、それぞれの歴史について、京都府であれば現在の街の姿、奈良県であれば奈良の大仏といった導入から学習を進めていきます。また、歴史的建築物が数多く登場する回になります。興味のある建物から調べていくことが発展学習につながっていきます。

理科

● 地面に見える水

学習内容 ■地球上の水、日本で見られる水、水と魚

地球上に存在する水について学習した後、日本で見られる海、水河、川、湖沼などを学習します。また、水と魚の関わりについても学習します。ふだん見かける風景が、さまざまなものによって織り成されていることを理解することが大切です。授業で紹介していく美しい映像や写真は必見です。

第2回

国語

● 物語文(2)

学習内容 ■プラスの気持ち・マイナスの気持ち

さまざまな「心情語」を、「プラスの(良い)気持ち」と「マイナスの(悪い)気持ち」に分類しながら身につけることで、読み取り、表現することのできる心情を増やすことを目指します。

● 熟語の組み立て(1)

学習内容 ■動作・目的／不無非未の熟語

「熟語の組み立て」のうち、「読書」「乗車」のように「上の漢字が動作、下の漢字が動作の対象になるもの」と、「不幸」「無色」のように「上の漢字が『不・無・非・未』となり、下の漢字の意味を打ち消すもの」というパターンを中心に扱います。

算数

● 植木算 ～間の数と木の数の関係を理解する～

学習内容 ■1列に植える
■円形に植える
■間に植える(両はしに植えない)
■いろいろな植木算

植木算は「木と間の数の関係」を理解することが最大のポイントになります。1列に植える場合は「間の数＝木の本数－1」、円形に植える場合は「間の数＝木の本数」、間に植える(両はしに植えない)場合は「間の数＝木の本数＋1」となることをきちんとマスターしましょう。最終的には以下のような文章題にもチャレンジしていきます。

《出題例》
長さ15cmのテープを、のりしろを1cmにして12まいつなげると、全体の長さは何cmになりますか。

社会

● 大阪府と和歌山県 ～商いのまちとくだもの～

学習内容 ■大阪府と和歌山県の特長について学ぶ

商人のまち大阪をその歴史から掘り下げていきます。「なぜ天下の台所とよばれたのか?」「どうやって大阪に特産物があつめられたのか?」などを意識しながら学習を進めていきましょう。和歌山県は、うめ・かき・みかんといったくだもの栽培がさかんな県です。愛媛県で学習をしたみかんの栽培との共通点に気づくことができれば、よりいっそう理解が深まることでしょう。

理科

● 空に見える水

学習内容 ■空にただよう水、空から降る水

雲を十種に分類して学習します。細かい名前を覚えることよりも、どのように分類されているのかを理解することの方が大切です。また、雨や雪、虹など、水が関係する自然現象を多く扱っていきます。ふだん目にする現象について、「なぜ?」の視点をもって原理を理解していきます。

国語

● 物語文(3)

学習内容 ■登場人物の気持ちを読み取ろう！

「出来事→気持ち→反応」というつながりを意識しながら、登場人物の心情を論理的に捉える練習を重ねます。

● 類義語(1)

学習内容 ■基本的な類義語

「自然≒天然」「不安≒心配」といった最も基本的な類義語の組み合わせを身につけていきます。

算数

● 和差算 ～線分図を描いて考える①～

学習内容 ■和差算の線分図
■平均
■和差算の文章題(基本)
■和差算の文章題(応用)

和差算では、「線分図を活用して問題を解く」ことを学びます。はじめに、簡単な線分図の問題を扱い、「和と差がわかっているときには、どれかに長さをそろえて考える」ということを身につけます。また、ここで「平均」についても学習します。「合計÷こ数=平均」という関係を理解し、使いこなせるようにしましょう。最終的には、次のような文章題を、線分図を使って正確に解けるようになることが目標です。

《出題例》

兄と弟の体重の平均は42kgです。兄が弟よりも10kg重いとき、兄の体重は何kgですか。

社会

● 兵庫県と滋賀県 ～天下の台所への物資～

学習内容 ■兵庫県と滋賀県の特長について学ぶ

兵庫県では、日本の時刻の基準となる日本標準時子午線が通る明石市、日本一の長さをほこるつり橋である明石海峡大橋、そして西日本最大の貿易港がある神戸市について学習をしていきます。滋賀県では、日本一の面積をほこる琵琶湖について、「その水がどこにもたらされるのか？」を重点的に学習していきます。また、かつて琵琶湖で起こった汚染問題についても触れていきます。

理科

● 食塩と砂糖

学習内容 ■食塩と砂糖、食塩水と砂糖水

まずは、食塩と砂糖の違いを五感(視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚)で調べていきます。どれも家庭でできる調べ方です。ぜひ、保護者様同伴のもとで食塩と砂糖の違いを確かめてください。また、食塩水と砂糖水の違いについても学習します。物質についての性質だけでなく、安全な実験方法、不適切な実験方法も確認します。興味を持ったことに対して自分の目で確かめるという姿勢を身につけることが大切です。

国語

● 説明文(1)

学習内容 ■話題と要点を捉えよう！

文章序盤で「話題」をつかみ、「形式段落」を意識しながら「要点」を捉えつつ読み進めるという、説明文の最も基本となる読み方を定着させていきます。

● ことわざ(1)

学習内容 ■動植物が入ったことわざ

「動植物が入ったことわざ」の続きを覚えていきます。

《この回に登場する主なことわざ》

猫にかつおぶし 角を矯めて牛を殺す 花より団子

算数

● 三角形の性質
～いろいろな三角形と広さを考える～

学習内容 ■いろいろな三角形
■三角形の広さ
■正三角形を数える
■三角形ができる条件

はじめに「二等辺三角形」「正三角形」「直角三角形」「直角二等辺三角形」といった三角形の性質を理解しましょう。次に、三角形の広さを、マスで表す問題を学習します。面積の学習につながる重要な問題です。また、正三角形をならべた図の中からいろいろな大きさの正三角形をさがす問題や、さまざまな長さの3本の棒をつないで三角形ができるかどうかを見極める問題も扱います。これらを通して、三角形の性質や特徴を理解しましょう。

社会

● 愛知県と三重県 ～日本のものづくり地域～

学習内容 ■愛知県と三重県の特長について学ぶ

愛知県は、工業生産額が日本でもっとも多い県です。つまり、日本でもっともものづくりがさかんな都道府県です。それを支えるのは豊田市を中心とする自動車工業です。そこで授業では、「自動車はどのようにしてつくられているのか？」と一緒に確認していきます。また、三重県では真珠の養殖について深く掘り下げていきます。真珠の養殖が可能になった理由に隠された、地形の秘密と人々の努力について、学習をしていきます。

理科

● ろうそくの燃え方

学習内容 ■ろうそくの燃え方、ろうそくの炎

さまざまな場面で使われるろうそく。まずはろうそくの燃え方についてくわしく学習します。次にろうそくの外炎、内炎、炎心の違いについて学習します。また、『ロウソクの科学』でお馴染みのファラデーや、NASAが撮影した宇宙船内のろうそくの写真についても紹介します。ろうそくについて学習する回ですが、大切なのは燃焼についての原理を理解することです。

第5回

国語

● 説明文(2)

学習内容 ■意味段落にまとめよう！

前後の形式段落のつながりを意識しながら読み進め、文章をいくつかの「意味段落」にまとめる練習を重ねます。

● 慣用句(1)

学習内容 ■体の一部が入った慣用句(1)

体の一部を含む基本的な慣用句を、引き続き覚えていきます。

《この回に登場する主な慣用句》

手を焼く 手も足も出ない 腹を割る 肩を落とす

算数

● わり算③ ～2けた・3けた÷2けたと筆算～

学習内容 ■わり算のくふう

■2けた÷2けたの筆算

■3けた÷2けたの筆算

「わられる数」と「わる数」のどちらの一の位にも0のつくわり算において、0を省略して考える計算の工夫を学びます。このような0がわられる数・わる数のどちらにも同じ数だけついているわり算について、商がわり切れる問題は前期にも学習しましたが、今回は「あまり」が生じる計算も扱います。また、「2けた÷2けた」「3けた÷2けた」の筆算も練習します。ここでのポイントは、「たてに位をそろえて数字を書く」ことです。

社会

● 長野県と岐阜県 ～海のない県の生活と工夫～

学習内容 ■長野県と岐阜県の特長について学ぶ

長野県と岐阜県はどちらも内陸県ですが、それぞれ取り上げる内容が異なります。長野県では、野辺山原という高い土地でさかんに行われている高冷地農業について、「夏にすずしいという特徴を生かしてどんな野菜をつくっているのか？」「どのようにしてわたしたちのもとに届くのか？」を確認していきます。一方、岐阜県では低い土地について学習をします。岐阜県の海津市は川にはさまれた低地です。長年水害になやまされてきたこの地域で、人々がどのような対策や工夫をほどこしてきたのかを理解していくことが重要です。

理科

● 毛のある動物

学習内容 ■毛のある動物、肉食動物・草食動物・雑食動物

動物の学習第一弾。毛のある動物として、ほ乳類を中心に学習します。今回は、ほ乳類を「肉食動物・草食動物・雑食動物」の観点からその性質についてくわしく確認します。また、肉球や牙など、ほ乳類の一部に見られるつくりについても確認します。ほ乳類について興味を持ち、図鑑などを通じて調べながら学習していくことが大切です。

第6回

国語

● 物語文(4)

学習内容 ■あの人はどんな人？

登場人物の言動や態度から「性格・人物像」を捉えることを学びます。

● ことばのきまり(2)

学習内容 ■修飾・被修飾関係を見抜く

「修飾・被修飾関係」を見抜く練習を重ねます。前期に扱った問題よりも、修飾語と被修飾語が離れた難度の高い文も扱います。

算数

● 分配算 ～線分図を描いて考える②～

学習内容 ■和を分配する

■差を分配する

■あまりや不足のある分配算の線分図

■分配算の文章題

和差算に続いて、線分図を活用して問題を解く単元です。はじめに、分配算の基本問題として、同じ大きさに区切られている線分図の、1区切り分が表す数量を求める方法を学習します。次に、あまりや不足のある分配算、3量の分配算にチャレンジします。最終的には文章題を読みとり、自分で線分図を利用して答えを求められるようにすることが目標です。

《出題例》

ある3つの整数A、B、Cがあります。AはCの2倍の大きさと、BはCの4倍よりも5大きく、A、B、Cの和は68です。このとき、Bはいくつですか。

社会

● 山梨県・静岡県・埼玉県 ～結びつく3つの県～

学習内容 ■山梨県と静岡県・埼玉県の特長について学ぶ

前期・後期合わせて25回授業があるなかで唯一、3つの県を1回の授業で扱う回です。山梨県では、甲府盆地で行われている果樹栽培について、盆地・扇状地という地形をいっしょに学習していきます。「盆地ってどんな地形だっけ？」と思い出しながら学習をしていきましょう。静岡県では、茶の栽培に関して、「どのような土地が茶の栽培に適しているのか？」を考えていきます。埼玉県では、交通の要所であるさいたま市の大宮と、秩父市でさかんなセメント工業について学習していきます。

理科

● 羽のある動物

学習内容 ■羽のある動物、渡りをする鳥・しない鳥

動物の学習第二弾。羽のある動物として、鳥類を中心に学習します。今回は、鳥類を「渡りをする・しない」の観点からその性質についてくわしく確認します。また、飛べない鳥、鳥類の骨の特徴についても確認します。ほ乳類と同様、鳥類について興味を持ち、図鑑などを通じて調べながら学習していくことが大切です。動物それぞれ形態が異なります。その異なる理由を考えていくことがとても大切です。

国語

● 物語文(5)

学習内容 ■ 文章全体を大きく見渡そう！

本文を一読後に、文章全体を見渡して「場面展開」を大きく捉える視点を身につけます。

● 熟語の組み立て(2)

学習内容 ■ 的性化／省略の熟語

「熟語の組み立て」のうち、「悪化」「詩的」のように「下の漢字が『的・性・然・化』となり、上の漢字に意味をそえて、様子や状態を表すもの」と、「国連」「入試」のように「長い熟語を省略したもの」というパターンを中心に扱います。

算数

● 場合の数 ～樹形図の学習／カードの並べ替え～

学習内容 ■ カードをならべかえる
■ 樹形図（ならべる）
■ いろいろなならべかえ
■ 条件があるならべかえ

ならべ方をやみくもに書き出して調べるのではなく、「樹形図」を利用して、重なりやもれを防ぐことを学習します。樹形図は、場合の数の基礎になります。まず、序列の最もわかりやすい「カード」のならべかえを題材にして「樹形図」のかき方を勉強します。樹形図をかく際には「小さい順（場合によっては、大きい順）」を守って正確にかきましょう。0がある場合、同じカードがある場合、偶数・奇数などの条件がある場合にも、丁寧に樹形図をかき、正解できるようにすることが目標です。

社会

● 東京都と神奈川県 ～なぜ京浜？～

学習内容 ■ 東京都と神奈川県の特長について学ぶ

首都である東京都と、日本第2位の人口をほこる神奈川県について学習していきます。およそ1400万人の人口をかかえる東京都は、政治・経済・文化の中心地、いわば日本の“おへそ”です。このように、人が集中する東京では過密とよばれる現象が起こっています。また、それにともなって発生する都市問題について、みなさんといっしょに考えていきます。

神奈川県では、海の玄関口である横浜港を中心に学習していきます。

理科

● 毛も羽もない動物

学習内容 ■ 毛も羽もない動物、魚類・両生類・
は虫類の卵・幼生・成体

動物の学習第三弾(最終回)。毛も羽もない動物として、魚類・両生類・は虫類を中心に学習します。今回は、この3つを「卵・幼生・成体」の違いから分類していきます。また、外来種や絶滅危惧種などについても学習します。ほ乳類・鳥類と同様、興味を持つことが大切ですが、「見るのも嫌!」というお子様は、少しずつ慣れていくことが目標になります。魚類・両生類・は虫類に毛はありませんが、毛嫌いせず、少しでも興味の幅を広げていくことが大切です。

国語

● 物語文(6)

学習内容 ■ 気持ちの変化を捉えよう！

「出来事→気持ち→反応」というつながりを意識しながら、文章全体での心情変化を捉える練習を重ねます。

● 対義語(1)

学習内容 ■ 基本的な対義語

「自然⇔人工」「過去⇔未来」といった最も基本的な対義語の組み合わせを身につけていきます。

算数

● 角度 ～同位角・さっ角／三角形の外角～

学習内容 ■ 角度
■ 同位角とさっ角
■ 三角形の内角の和
■ 正三角形と二等辺三角形

「一回転=360度、一直線=180度、直角=90度」と「対ちょう角は等しい」ということを学ぶところからスタートです。続いて、平行線の「同位角」「さっ角」が等しいことについて学習します。また、この回では「三角形の内角の和が180度になること」「外角の定理」「正三角形と二等辺三角形、その性質」についても学びます。いずれも繰り返し演習を重ねることで、知識や考え方を定着させていきます。まずは図形に「慣れる」ことが大切です。

社会

● 茨城県と千葉県 ～茨城県と千葉県のつながりとは？～

学習内容 ■ 茨城県と千葉県の特長について学ぶ

今回の学習で重要になるのは2つの県境を流れる利根川です。茨城県では、利根川の下流域に広がる水郷とよばれる地帯で、早稲米が栽培されています。「なんのために早く育てるのか?」を理解しましょう。千葉県では、利根川の歴史について扱います。もともと利根川は東京湾に注いでいた川です。「なぜ東京湾から今のような流路に変えられたのか?」を意識しながら学習をしていくとより一層知識が定着しやすくなります。

理科

● 人体の不思議

学習内容 ■ 人類の進化、ヒトの体のつくり

地球が誕生してからの長い歴史のなかで、人類はわずかな期間のみ繁栄しています。そのわずかな期間で、どのように人類が進化を遂げたのかを学習します。また、骨と内臓に着目し、ヒトの体の中を見ていきます。「お腹が痛い」といってもその原因はさまざま。「なぜ?」と考え、自分の体についてくわしくなっていくことが大切です。

国語

● 説明文(3)

学習内容 ■「具体例」と「言いたいこと」

「具体⇔抽象」という視点を身につけ、「具体例を通じて、筆者が言いたいことは何か」を捉える練習を重ねます。

● ことわざ(2)

学習内容 ■漢数字が入ったことわざ

「漢数字が入ったことわざ」を覚えていきます。

《この回に登場する主なことわざ》

石の上にも三年 三つ子の魂百まで 二階から目薬

算数

● 分数① ～分数の概念／大小／加減～

学習内容 ■分数とは
■分数の大小
■分数のたし算・ひき算
■等しい分数

まずは、分数の表す意味について理解するところから始めます。次に、分母が等しい分数の大小をくらべる問題に取り組みます。そのうえで、分母が同じ分数どうしのたし算・ひき算は分母はそのままにして分子だけを計算すれば良いことを学び、演習をします。そして最後に、分数の分母と分子それぞれに同じ数をかけても、それぞれを同じ数でわっても、分数の大きさが変わらないことを学習します。これから分数の基本事項をしっかりと理解することがこの回の目標です。

社会

● 栃木県と群馬県 ～関東の北はどんなところ？～

学習内容 ■栃木県と群馬県の特長について学ぶ

栃木県は餃子やいちご、かんぴょうといった特産品も有名な県です。それと同時に栃木県は歴史がつまった県でもあります。「どんな歴史がつまっているのか？」を意識しながら学習を進めていきましょう。一方、群馬県では浅間山のふもとで高原野菜の栽培がさかんに行われています。第5回で学習した野辺山原との共通点に気づくとともに、ここでみられる栽培の工夫についても興味をもって学習していきましょう。

理科

● 鏡で光を集めよう

学習内容 ■光を集めてみよう、光の集め方

「鏡を使って光を集めたとき、より光が集まったところほど温度が高くなるのはなぜだろう？」ここから授業が始まります。そして、この回より本格的な物理の学習がスタートします。

私たちの身近なところには、光があふれています。そして私たちは、その光を有効活用しています。時には危険をもたらすこともあります。光というものを切り口に、抽象的な内容の学習を低学年時よりチャレンジしていくことで、論理的な思考力を養っていきます。

国語

● 説明文(4)

学習内容 ■段落関係図を読み取ろう！

段落関係を視覚的に表した図の読み取り方を身につけます。ポイント「段落関係図において横並びの段落＝対等・並列の関係にある」ということです。

● 慣用句(2)

学習内容 ■体の一部が入った慣用句(2)

体の一部を含む基本的な慣用句を、引き続き覚えていきます。

《この回に登場する主な慣用句》

顔に泥を塗る 一目置く 寝耳に水 骨を折る

算数

● 分数② ～分数と小数、仮分数と帯分数～

学習内容 ■分数と小数
■帯分数と仮分数
■単位がついた分数
■数直線と分数

はじめに、分数と小数(小数第1位まで)の変換について練習をします(約分は3年生では扱いません)。次に、帯分数と仮分数の変換についても練習をします。そのうえで「単位がついた分数」を学習し、「ある量の $\frac{3}{4}$ 」を求める演習を重ねていきます。つまずきやすい内容なので、じっくり丁寧に学習していきます。そして最後に、数直線上の点を分数で表す問題や、数直線を用いて分数の大小を比べる問題に取り組みます。こうした分数に関するさまざまな基本事項を理解していきましょう。

社会

● 石川県と福井県 ～日本海のめぐみ～

学習内容 ■石川県と福井県の特長について学ぶ

石川県は、輪島塗や九谷焼といった伝統的工芸品の生産がさかんな県です。「どうしてこれらの地域では伝統工業がさかんなのか？」を意識しながら学習を進めていくことが大切です。福井県の若狭湾は「原発銀座」とよばれるほど、原子力発電所が多い湾です。また、地場産業とよばれる産業がさかんな地域です。そもそも地場産業とは何なのか、そしてどんなものをつくっているのかを一緒に見ていきましょう。

理科

● 音の高さを変えてみよう

学習内容 ■音って何？ 音の高さ

音とは何か。その難しい問いから授業が始まります。光に続き、本格的な物理の学習の第二弾です。音の高さについてはダイナミックな実験映像とともに学習していきます。難しい内容もふくまれますが、原理を理解すれば腑に落ちることでしょう。理科は覚えるのではなく、理解することがとても大切です。

第11回

国語

● 物語文(7)

学習内容 ■ 作者が一番伝えたいことは？

物語文全体を通じて作者が最も伝えたいことである「主題」を読み取ることを学びます。一読後に「作者が伝えたい思い・願い」を考える習慣をつけましょう。

● 類義語(2)

学習内容 ■ 応用的な類義語

「準備⇔用意」「手段⇔方法」といった若干難度の高い類義語の組み合わせを身につけていきます。

算数

● 周期算 ～「繰り返し」を考えて解く問題～

学習内容 ■ □番目の記号をもとめる
■ □番目までに含まれるある記号のこ数をもとめる
■ 特定の記号に注目する
■ 周期算の応用 (□番目までの数字の和)

まずは、「周期(=あるパターンが繰り返すこと)」を理解して周期を見つけます。そのうえで、周期算とは「全体の数÷1つの周期のこ数=周期が繰り返される回数あまりはんばのこ数」という式で成り立つという基本を学習し、演習していきます。その次に、「□番目までに含まれているある記号のこ数をもとめる問題」や、「特定の記号に注目した際、□こ目は全体の何番目にあたるかをもとめる問題」、「特定の周期でならんでいる数列の□番目までを足すといくつになるかをもとめる問題」など、さまざまな応用問題にチャレンジしていきます。

社会

● 新潟県と富山県 ～日本の米どころとチューリップ～

学習内容 ■ 新潟県と富山県の特長について学ぶ

新潟県は、日本を代表する米づくりがさかんな地域です。越後平野ではどのようにして米をつくっているのかをじっくり学習していきます。また、北陸地域ではなぜ冬に雪がたくさん降るのか、そのしくみについて学習していきます。瀬戸内海に面した地域の気候を学習するときに触れた、「海流」「季節風」「山地・山脈」という3つを意識しながら授業を受けることが大切です。

理科

● 磁石につくものとつかないもの

学習内容 ■ 磁石ってどんなもの？ 磁石につくもの

物理の学習第三弾。身近にある磁石について考えることから学習が始まります。大きな磁石についても、内部にあると考えられる小さな磁石に着目することで、磁石がどのようなものか、あるいは磁石につくものとつかないものの違いは何か、などの問いに対する答えの一端を示すことができます。覚えることはひとつもありません。「なぜ？」の気持ちを大切にしてください。

第12回

国語

● 説明文(5)

学習内容 ■ 筆者が一番言いたいことは？

説明文全体を通じて筆者が最も言いたいことである「要旨」を読み取ることを学びます。一読後に「筆者が訴えたい意見・主張」を考える習慣をつけましょう。

● 対義語(2)

学習内容 ■ 応用的な対義語

「形式⇔内容」「戦争⇔平和」といった若干難度の高い対義語の組み合わせを身につけていきます。

算数

● さいころ ～さいころの性質～

学習内容 ■ てんかい図とさいころの目
■ 外から見える目
■ 外から見える面
■ さいころを転がす

立方体の展開図については前期にも学習済みですが、この回ではさらに「さいころの1～6の目は、向かい合う目の和が7になっている」という性質を利用して、「空欄になっている面の目を答える問題」に取り組みます。また、応用問題として「積み重ねたさいころをある方向から見たときに見える目の数の合計をもとめる問題」や「さいころを転がし、上の目を答える問題」にもチャレンジします。頭の中だけで処理するのではなく、実際に手を動かし、「作業」をしながら答えを導けるようになることが大切です。

社会

● 山形県と福島県 ～くだものづくりがさかんな県～

学習内容 ■ 山形県と福島県の特長について学ぶ

今回学習する2県の共通点は、「果物づくりがさかんである」ということです。山形盆地で栽培されている果物で有名なものはおうとう(さくらんぼ)です。そのおいしさのひみつと一緒にみていきます。福島盆地では、ももの栽培がさかんです。盆地の特徴については、これまでに学習をしたことを思い出しながら学習を進めましょう。

理科

● 電気が流れるものと流れないもの

学習内容 ■ 電気が流れるもの、電球

物理の学習第四弾(最終回)。電気が流れるものと流れないものの違いについて学習します。電気が流れるということはどういうことなのかについては、非常に難解であるため、メインの内容とはせず、コラムで紹介しています。また、電球というものがどのように発展してきたのかについて学習します。家庭には電気が流れるもの、あるいは電気を流すものが多くあります。今まで理解することが困難だった多くのものごとに関し、1つでも理解できたことを増やすことが目標です。

第13回

国語

● 詩

学習内容 ■詩を読み味わおう！

「数少ない言葉から、そこに込められたイメージや思いを引き出す」という詩の基本となる読み方を身につけます。

● 故事成語

学習内容 ■基本的な故事成語

故事成語の中でも基本的なものに慣れ親しみましょう。

《この回に登場する主な故事成語》

五十歩百歩 蛇足 漁夫の利 矛盾

算数

● 立体図形③ ～展開図に関する問題～

学習内容 ■積んである積み木のしゅるい
■てんかい図とちょう点
■てんかい図と正方形の向き

まずは、色のついた積み木を積んでできた立方体や立体について、各色の積み木が何こずつあるかを答える問題に取り組みます。前期にも学習したように、1段ごとに丁寧に図をかくて考える作業を習慣付けることが大切です。また、立方体のてんかい図については、こちらも前期に学習した「ちょう点のふり方」をしっかりと復習しましょう。立方体の性質を利用した大切な知識です。最後に、立方体の面にかき入れた文字や記号が、てんかい図ではどの面にどのような向きに見えるかを考えるという応用問題へもチャレンジします。

社会

● 宮城県と岩手県 ～川で結びつく2つの県～

学習内容 ■宮城県と岩手県の特長について学ぶ

宮城県と岩手県に関連することがらとしては大きく2つあります。1つは、初夏にふく「やませ」とよばれる風です。この風が東北地方の太平洋側にどのような影響を与えるのかについて学習していきます。もう1つは、「リアス海岸」とよばれる地形の三陸海岸についてです。これまでに宇和海沿岸や志摩半島の英虞湾でも登場しましたが、今一度確認していきます。北上川で結びつくこれらの県の特長をまとめて学習していきましょう。

理科

● 星

学習内容 ■天の川銀河、季節の星

この回から本格的な天体の学習がスタートします。第一弾は星です。宇宙の広がりや日常生活では想像もつかないほど果てしないものです。まずは、距離の単位についてくわしく見ていきます。次に、冬と夏に見られる代表的な星座について学習します。学習するころは冬ですから、夜空を眺めてください。そして、遥か彼方に存在するであろう数々の天体について、そこにある理由は、その輝きの理由はと、思いを巡らせることが大切です。

第14回

国語

● 物語文(8)

学習内容 ■物語文のまとめ

「場面」「心情」「心情変化」「主題」といった、これまでに身につけてきた物語文の読み方を総復習します。

● ことわざ(3)

学習内容 ■その他のことわざ

これまでに登場していない、覚えておくべきことわざをまとめて扱います。

《この回に登場する主なことわざ》

情けは人のためならず 住めば都 急がば回れ

算数

● 文章題のまとめ ～小3で学習した文章題の復習～

学習内容 ■文章題の総合演習

前期に学んだ「時ごとと時間」「ベン図」「資料の整理(表の読み取り、表をかくて考える)」、後期に学んだ「植木算」「和差算」「場合の数」「分配算」「周期算」などの文章題に関わる単元を総復習します。各単元の基本的な解法を理解し、定着させることができているかを確認していきましょう。線分図や表、樹形図が正しくかけているかも忘れずにチェックしてください。

社会

● 秋田県と青森県 ～すぎとひば～

学習内容 ■秋田県と青森県の特長について学ぶ

秋田県では、干拓により水田地帯となった八郎潟について学ぶとともに、青森県との境にある白神山地について学習をしていきます。青森県では、津軽平野を中心に栽培がさかんりんごについて、その栽培方法をみていくことで理解を深めていきます。また、東北三大祭についても扱います。「何のために行われるお祭りなのか？」を考えながら学習を進めていくことが大切です。

理科

● 月

学習内容 ■生活の中の月、人類の挑戦

天体の学習第二弾、地球にもっとも近い天体である月。まずは、古来より私たちが月をどのように捉えてきたのかといったところから学習を始めます。さらに、月に挑戦した人類の歴史を紐解いていきます。月は私たちにとって身近な天体のひとつです。遠い昔、電気のない暗闇の中で輝く月は、とりわけ人々の心を動かしたことでしょう。月をさらに身近に感じ、なぜ人々の心を動かす天体であるのかを考えることが大切です。

国語

● 説明文(6)

学習内容 ■ 説明文のまとめ

「話題」「要点」「段落関係」「要旨」といった、これまでに身につけてきた説明文の読み方を総復習します。

● 慣用句(3)

学習内容 ■ その他の慣用句

これまでに登場していない、覚えておくべき慣用句をまとめて扱います。

《この回に登場する主な慣用句》

油を売る 水に流す 匙を投げる 気が置けない

算数

● 図形のまとめ
～小3で学習した図形問題の復習～

学習内容 ■ 図形の総合演習

プレ・前期で学んだ「正方形と長方形」「円」「立体図形・積み木」、後期に学んだ「三角形の性質」「角度」「さいころ」「立方体・てんかい図」などの平面図形と立体図形に関わる単元を総復習します。各単元の基本事項を確認し、定着できているかを確認します。なかでも、角度における「平行線の同位角・さっ角」の性質を利用する問題や「三角形の外角の定理」、てんかい図におけるちょう点のふり方などは、きちんと身につけているかチェックしてください。

社会

● 北海道 ～ナンバーワンがたくさん！～

学習内容 ■ 北海道の特長について学ぶ

北海道の道庁所在地がある札幌市は、北海道最大の都市で、多くの人口をかかえている都市でもあります。そんな北海道は、地域によって産業の特色が異なります。十勝平野で行われる畑作、根釧台地の酪農、上川盆地の稲作などその特長はさまざまです。また、北海道の歴史についてもふれます。日本一大きな面積をほこる北海道のナンバーワンと一緒に学習していきましょう。

理科

● 太陽

学習内容 ■ 母なる太陽、太陽系

天体の学習第三弾(最終回)。太陽がなければ私たちは存在することはありませんでした。まずは、その太陽についてくわしく学習します。次に、太陽系の天体について学習します。今回の授業は、スケールの大きい話を扱っていきます。それにチャレンジすることで、次年度以降の学習につながる指針をお子様が得ることを願ってやみません。

授業カレンダー [前期]

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
2/1 (日)							
2/2 (月)							
2/3 (火)							
2/4 (水)							
2/5 (木)							
2/6 (金)							
2/7 (土)							
2/8 (日)							
2/9 (月)	○						
2/10 (火)	○		ブレ①				
2/11 (水)	○			ブレ①			
2/12 (木)	○				ブレ①		
2/13 (金)	○					ブレ①	
2/14 (土)							
2/15 (日)							
2/16 (月)	○						
2/17 (火)	○		ブレ②				
2/18 (水)	○			ブレ②			
2/19 (木)	○				ブレ②		
2/20 (金)	○					ブレ②	
2/21 (土)							
2/22 (日)							
2/23 (月)	○						
2/24 (火)	○		ブレ③				
2/25 (水)	○			ブレ③			
2/26 (木)	○				ブレ③		
2/27 (金)	○					ブレ③	
2/28 (土)							

●小3初回授業:2/10(火)~2/13(金)
※校舎によって異なります。
●2月・3月のブレ期は週1日です。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
3/1 (日)							
3/2 (月)	○						
3/3 (火)	○		ブレ④				
3/4 (水)	○			ブレ④			
3/5 (木)	○				ブレ④		
3/6 (金)	○					ブレ④	
3/7 (土)							
3/8 (日)							
3/9 (月)	○						
3/10 (火)	○		ブレ⑤				
3/11 (水)	○			ブレ⑤			
3/12 (木)	○				ブレ⑤		
3/13 (金)	○					ブレ⑤	
3/14 (土)							
3/15 (日)							
3/16 (月)	○						
3/17 (火)	○		MT対策				
3/18 (水)	○			MT対策			
3/19 (木)	○				MT対策		
3/20 (金)	○					MT対策	
3/21 (土)							
3/22 (日)							
3/23 (月)							
3/24 (火)							
3/25 (水)							
3/26 (木)	講						
3/27 (金)	講						
3/28 (土)	講						
3/29 (日)	講						
3/30 (月)	講						
3/31 (火)	講						

●3/17(火)~3/20(金)はマンスリーテスト対策週です。
●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●2月・3月のブレ期は週1日です。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
4/1 (水)							
4/2 (木)	講						
4/3 (金)	講						
4/4 (土)							
4/5 (日)							
4/6 (月)							
4/7 (火)							
4/8 (水)	○			前期①			
4/9 (木)	○				前期①		
4/10 (金)	○					前期①	
4/11 (土)							
4/12 (日)							
4/13 (月)	○						
4/14 (火)	○		前期①				
4/15 (水)	○			前期②			
4/16 (木)	○				前期②		
4/17 (金)	○					前期②	
4/18 (土)							
4/19 (日)							
4/20 (月)	○						
4/21 (火)	○		前期②				
4/22 (水)	○			前期③			
4/23 (木)	○				前期③		
4/24 (金)	○					前期③	
4/25 (土)							
4/26 (日)							
4/27 (月)	○						
4/28 (火)	○		前期③				
4/29 (水)							
4/30 (木)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●4月初回授業:4/8(水)・4/9(木)
※校舎によって異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
5/1 (金)							
5/2 (土)							
5/3 (日)							
5/4 (月)							
5/5 (火)							
5/6 (水)							
5/7 (木)	○				前期④		
5/8 (金)	○					前期④	
5/9 (土)							
5/10 (日)							
5/11 (月)	○						
5/12 (火)	○		前期④				
5/13 (水)	○			前期④			
5/14 (木)	○				前期⑤		
5/15 (金)	○					前期⑤	
5/16 (土)							
5/17 (日)							
5/18 (月)	○						
5/19 (火)	○		前期⑤				
5/20 (水)	○			前期⑤			
5/21 (木)	○				MT対策		
5/22 (金)	○					MT対策	
5/23 (土)							
5/24 (日)							
5/25 (月)	○						
5/26 (火)	○		MT対策				
5/27 (水)	○			MT対策			
5/28 (木)	○				前期⑥		
5/29 (金)	○					前期⑥	
5/30 (土)							
5/31 (日)							

●5/21(木)~5/27(水)はマンスリーテスト対策週です。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
6/1 (月)	○						
6/2 (火)	○		前期⑥				
6/3 (水)	○			前期⑥			
6/4 (木)	○				前期⑦		
6/5 (金)	○					前期⑦	
6/6 (土)							
6/7 (日)							
6/8 (月)							
6/9 (火)							
6/10 (水)							
6/11 (木)							
6/12 (金)							
6/13 (土)							
6/14 (日)							
6/15 (月)	○						
6/16 (火)	○		前期⑦				
6/17 (水)	○			前期⑦			
6/18 (木)	○				前期⑧		
6/19 (金)	○					前期⑧	
6/20 (土)							
6/21 (日)							
6/22 (月)	○						
6/23 (火)	○		前期⑧				
6/24 (水)	○			前期⑧			
6/25 (木)	○				前期⑨		
6/26 (金)	○					前期⑨	
6/27 (土)							
6/28 (日)							
6/29 (月)	○						
6/30 (火)	○		前期⑨				

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
7/1 (水)	○			前期⑨			
7/2 (木)	○				前期⑩		
7/3 (金)	○					前期⑩	
7/4 (土)							
7/5 (日)							
7/6 (月)	○						
7/7 (火)	○		前期⑩				
7/8 (水)	○			前期⑩			
7/9 (木)	○				MT対策		
7/10 (金)	○					MT対策	
7/11 (土)							
7/12 (日)							
7/13 (月)	○						
7/14 (火)	○		MT対策				
7/15 (水)	○			MT対策			
7/16 (木)							
7/17 (金)							
7/18 (土)							
7/19 (日)							
7/20 (月)							
7/21 (火)	講						
7/22 (水)	講						
7/23 (木)	講						
7/24 (金)	講						
7/25 (土)	講						
7/26 (日)	講						
7/27 (月)							
7/28 (火)	講						
7/29 (水)	講						
7/30 (木)	講						
7/31 (金)	講						

●7/9(木)~7/15(水)はマンスリーテスト対策週です。
●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。

[後期]

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
8/1 (土)	講	夏期講習会期間					
8/2 (日)	講						
8/3 (月)							
8/4 (火)							
8/5 (水)							
8/6 (木)							
8/7 (金)							
8/8 (土)							
8/9 (日)							
8/10 (月)							
8/11 (火)							
8/12 (水)							
8/13 (木)							
8/14 (金)							
8/15 (土)							
8/16 (日)	講	夏期講習会期間					
8/17 (月)	講						
8/18 (火)	講						
8/19 (水)	講						
8/20 (木)	講						
8/21 (金)	講						
8/22 (土)							
8/23 (日)	講						
8/24 (月)	講						
8/25 (火)	講						
8/26 (水)	講						
8/27 (木)	講						
8/28 (金)	講						
8/29 (土)							
8/30 (日)							
8/31 (月)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
10/1 (木)	○				後期⑤		
10/2 (金)	○					後期⑤	
10/3 (土)							
10/4 (日)							
10/5 (月)	○						
10/6 (火)	○		後期⑤				
10/7 (水)	○			後期⑤			
10/8 (木)	○				MT対策		
10/9 (金)	○					MT対策	
10/10 (土)		マンスリーテスト④					
10/11 (日)							
10/12 (月)	○						
10/13 (火)	○		後期⑥				
10/14 (水)	○			後期⑥			
10/15 (木)	○				後期⑥		
10/16 (金)	○					後期⑥	
10/17 (土)							
10/18 (日)							
10/19 (月)	○						
10/20 (火)	○		後期⑦				
10/21 (水)	○			後期⑦			
10/22 (木)	○				後期⑦		
10/23 (金)	○					後期⑦	
10/24 (土)							
10/25 (日)							
10/26 (月)	○						
10/27 (火)	○		後期⑧				
10/28 (水)	○			後期⑧			
10/29 (木)	○				後期⑧		
10/30 (金)	○					後期⑧	
10/31 (土)							

●10/8(木)～10/9(金)はマンスリーテスト対策週です。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
12/1 (火)	○		後期⑪				
12/2 (水)	○			後期⑪			
12/3 (木)	○				後期⑪		
12/4 (金)	○					後期⑪	
12/5 (土)							
12/6 (日)							
12/7 (月)	○						
12/8 (火)	○		後期⑫				
12/9 (水)	○			後期⑫			
12/10 (木)	○				後期⑫		
12/11 (金)	○					後期⑫	
12/12 (土)							
12/13 (日)							
12/14 (月)	○						
12/15 (火)	○		後期⑬				
12/16 (水)	○			後期⑬			
12/17 (木)	○				後期⑬		
12/18 (金)	○					後期⑬	
12/19 (土)							
12/20 (日)							
12/21 (月)	○						
12/22 (火)	○			復習回			
12/23 (水)							
12/24 (木)							
12/25 (金)							
12/26 (土)	講	冬期講習会期間					
12/27 (日)	講						
12/28 (月)	講						
12/29 (火)	講						
12/30 (水)							
12/31 (木)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
9/1 (火)	○		後期①				
9/2 (水)	○			後期①			
9/3 (木)	○				後期①		
9/4 (金)	○					後期①	
9/5 (土)							
9/6 (日)							
9/7 (月)	○						
9/8 (火)	○		後期②				
9/9 (水)	○			後期②			
9/10 (木)	○				後期②		
9/11 (金)	○					後期②	
9/12 (土)							
9/13 (日)							
9/14 (月)	○						
9/15 (火)	○		後期③				
9/16 (水)	○			後期③			
9/17 (木)	○				後期③		
9/18 (金)	○					後期③	
9/19 (土)							
9/20 (日)							
9/21 (月)	○						
9/22 (火)							
9/23 (水)							
9/24 (木)	○				後期④		
9/25 (金)	○					後期④	
9/26 (土)							
9/27 (日)							
9/28 (月)	○						
9/29 (火)	○		後期④				
9/30 (水)	○			後期④			

●9月初回授業:9/1(火)・9/2(水)
※校舎によって異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
11/1 (日)							
11/2 (月)							
11/3 (火)		全国統一小学生テスト					
11/4 (水)	○		復習回				
11/5 (木)							
11/6 (金)							
11/7 (土)							
11/8 (日)							
11/9 (月)	○						
11/10 (火)	○		後期⑨				
11/11 (水)	○			後期⑨			
11/12 (木)	○				後期⑨		
11/13 (金)	○					後期⑨	
11/14 (土)							
11/15 (日)							
11/16 (月)	○						
11/17 (火)	○		後期⑩				
11/18 (水)	○			後期⑩			
11/19 (木)	○				後期⑩		
11/20 (金)	○					後期⑩	
11/21 (土)							
11/22 (日)							
11/23 (月)	○						
11/24 (火)	○		MT対策				
11/25 (水)	○			MT対策			
11/26 (木)	○				MT対策		
11/27 (金)	○					MT対策	
11/28 (土)		マンスリーテスト⑤					
11/29 (日)							
11/30 (月)	○						

●11/24(火)～11/27(金)はマンスリーテスト対策週です。

2027	授業 実施	月	火	水	木	金	土
1/1 (金)							
1/2 (土)							
1/3 (日)							
1/4 (月)	講	冬期講習会期間					
1/5 (火)	講						
1/6 (水)	講						
1/7 (木)	講						
1/8 (金)							
1/9 (土)							
1/10 (日)							
1/11 (月)	○						
1/12 (火)	○		後期⑭				
1/13 (水)	○			後期⑭			
1/14 (木)	○				後期⑭		
1/15 (金)	○					後期⑭	
1/16 (土)							
1/17 (日)							
1/18 (月)	○						
1/19 (火)	○		後期⑮				
1/20 (水)	○			後期⑮			
1/21 (木)	○				後期⑮		
1/22 (金)	○					後期⑮	
1/23 (土)		組分けテスト					
1/24 (日)							
1/25 (月)	○						
1/26 (火)	○		小4上①				
1/27 (水)	○			小4上①			
1/28 (木)	○				小4上①		
1/29 (金)	○					小4上①	
1/30 (土)							
1/31 (日)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●1月初回授業:1/12(火)・1/13(水) 小3最終授業:1/28(木)・1/29(金)
※校舎によって異なります。
●1/26(火)以降は小4「予習シリーズ」上巻第1回を扱います。

